
平成29年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成29年3月10日

質問者（質問順）

- 1 長谷川 琢 磨 委 員 (自 民 党)
- 2 山 浦 英 太 委 員 (民 進 党)
- 3 竹 内 康 洋 委 員 (公 明 党)
- 4 荒 木 由美子 委 員 (共 産 党)
- 5 山 田 桂一郎 委 員 (維 ヲ コ)

水 道 局

局 別 審 査

1 長谷川 琢 磨 委員（自民党）

1 平成29年度予算編成について

- (1) 水道事業管理者としての所感や今後の事業運営の考え方について伺いたい。
- (2) 29年度予算の編成にあたっての基本的な考え方について伺いたい。
- (3) 68億円の純利益についての評価を伺いたい。

2 水道施設の更新・耐震化について

- (1) 浄水場の再整備の考え方について伺いたい。
 - (2) 西谷浄水場再整備事業の内容と意義について伺いたい。
 - (3) 相模湖系導水路の導水能力が不足している理由について伺いたい。
 - (4) 浄水処理施設と導水路の能力が増強される効果について伺いたい。
 - (5) 管路の更新・耐震化に対する平準化の考え方について伺いたい。
 - (6) 管路更新の今後の進め方について伺いたい。
- (要望) 水道施設が将来にわたり市民生活を支えるインフラとして確実に機能するよう、更新・耐震化の今後の計画を検討していくことを要望します。

3 災害時における水の確保について

- (1) 災害時給水所の配置の考え方と設置状況について伺いたい。
 - (2) 地域における応急給水訓練の27年度実績について伺いたい。
 - (3) 飲料水備蓄促進のために消防局との連携を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 水道局と消防局との連携について副市長の見解を伺いたい。
- (要望) これまで以上に水道局と消防局が連携して、より効果的な飲料水備蓄促進の取組を進めていくことを要望します。

4 災害時における横浜市管工事協同組合との連携強化について

- (1) 災害協定の主な内容と改定点について伺いたい。
- (2) 災害用地下給水タンク開設における役割分担について伺いたい。
- (3) 保守点検委託の内容について伺いたい。
- (4) 保守点検を委託する経緯と効果について伺いたい。
- (5) 管工事協同組合との連携に関する今後の展開について伺いたい。

5 水道メーター取替作業委託の請負工事化などについて

- (1) 水道メーター取替作業委託の請負工事化による効果について伺いたい。
- (2) 29年度の発注方法の変更点について伺いたい。
- (3) 工事請負契約へのスムーズな移行に向けた取組について伺いたい。
- (4) 市民へのメリットについて伺いたい。

6 水道局及び横浜ウォーター株式会社の国際事業展開について

- (1) 水道局の国際事業展開の状況について伺いたい。
- (2) 横浜ウォーター株式会社の国際事業展開の状況について伺いたい。
- (3) 水道局と横浜ウォーター株式会社が、それぞれの強みを持ち寄って連携を図ることで、事業効果も高まると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 水道局の国際貢献と横浜ウォーター株式会社のビジネス展開を戦略的に組み合わせることで、世界の水道事業改善に貢献していくことを要望します。

1 災害時の応急給水体制について

- (1) 応急給水訓練の考え方について伺いたい。
- (2) 災害用地下給水タンクでの具体的な訓練内容について伺いたい。
- (3) その他の災害時給水所での訓練と周知方法について伺いたい。
- (4) 給水車の配置の考え方について伺いたい。
- (5) 給水車による応急給水の考え方について伺いたい。

2 災害時における材料・燃料の確保について

(1) 材料の確保について

- ア 横浜水道安全・安心パートナーとの連携強化の取組について伺いたい。
- イ 管工事協同組合との復旧材料確保の取組について伺いたい。
- ウ 災害対応に関する管工事協同組合との連携の経緯と今後の展望について伺いたい。

(2) 燃料の確保について

- ア 燃料供給における安全・安心パートナーの現状について伺いたい。
- イ 発災時における安全・安心パートナーの実効性をより確保すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 水道局技術職員の人材育成・人材確保について

- (1) 技術職員に占めるマスターエンジニアの割合について伺いたい。
- (2) 若手技術職員の育成の取組について伺いたい。
- (3) 水道技術職と、本市の高校卒程度の技術職採用試験の実施結果について伺いたい。
- (4) 水道技術職の採用により期待する効果について伺いたい。
- (5) 水道局による民間事業者に対する人材育成の考え方について伺いたい。
- (6) 水道局では新技術をどのように取り入れていくのか伺いたい。
- (7) 本市全体の技術職員の人材育成・技術継承の考え方について副市長に伺いたい。

4 水道局の人材育成への横浜ウォーター株式会社の活用について

- (1) 横浜ウォーター株式会社の人材確保に対する、水道局の考え方について伺いたい。
 - (2) 横浜ウォーター株式会社と連携した事業展開による水道局の人材育成効果について伺いたい。
 - (3) 水道局の人材育成や技術継承について、横浜ウォーター株式会社を活用していくべきと考えるが見解を伺いたい。
- (要望) 水道局における人材の確保と育成について、取組途中での成果の把握や制度の見直しも怠らず、着実に結果に結びつけられるよう取り組んでいくことを要望します。

3 竹内康洋委員（公明党）

1 近代水道創設130年記念事業について

- (1) 市民に伝えたい内容について伺いたい。
- (2) 水道局の日々の取組を伝えていく上で特徴的な事業について伺いたい。
- (3) 水道についてもっとPRすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 水道の歴史は、分かりやすいまちの歴史であり、価値のある財産なので、横浜市のプロモーションに生かしていくことを要望します。

2 水道水の品質管理の徹底について

- (1) 本市の水質管理基準について伺いたい。
- (2) 水質検査の精度管理について伺いたい。
- (3) 浄水場での品質管理の手法について伺いたい。
- (4) 現在までの管理値の達成状況と現状の課題について伺いたい。
- (要望) 今後も引き続き厳しく品質管理を行い、高いレベルの安全で良質な水の製造を徹底していくことを要望します。

3 直結給水の促進と子どもたちが水道水を飲む文化を育む事業について

- (1) 直結給水の事業促進の取組について伺いたい。
- (2) 直結給水促進のPRとその効果について伺いたい。
- (3) 学校における直結給水化の事業内容及び進捗状況について伺いたい。
- (4) 地域防災拠点における災害時の飲料水確保のあり方について、関係各局で調整を図り整理することが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 今後も引き続き教育委員会等と連携して、更に学校の直結給水化の促進を図ることを要望します。
- (要望) 地域防災拠点における飲料水確保の充実について、関係する各局が連携して検討していくことを要望します。

4 災害対応力の強化について

- (1) 事務所統合による災害対応力への影響について伺いたい。
 - (2) 他都市からの支援活動の調整方法について伺いたい。
 - (3) 使用材料に関する他都市との情報提供の取組について伺いたい。
 - (4) 医療機関への管路の耐震化の状況について伺いたい。
 - (5) 震災時重要拠点施設への管路の耐震化の今後の考え方について伺いたい。
- (要望) 熊本地震などの被害や対応の状況を的確に把握し、発災時の対応における課題解消の方策について検討し、市民の安全の確保に向けて引き続き努力していくことを要望します。

5 水道局におけるインセンティブ発注の拡大について

- (1) 28年度の水道局におけるインセンティブ発注の実績について伺いたい。
- (2) インセンティブ発注拡大の内容とその背景について伺いたい。
- (3) 災害協力事業者へのインセンティブ発注の具体的な方法について伺いたい。

6 水利用実態の把握について

- (1) 家庭用の水量が微減傾向になった理由について伺いたい。
- (2) 水利用実態調査の具体的な内容について伺いたい。
- (3) 調査から得られる結果とその活用方法について伺いたい。

7 国際貢献の推進について

- (1) 草の根技術協力事業後のベトナムとの関係について
 - ア フェ省水道公社との関係について伺いたい。
 - イ 29年度のベトナムでの海外水ビジネス展開支援の予定について伺いたい。
 - (2) ベトナム以外の地域における支援の状況について伺いたい。
 - (3) 国際協力における自然災害対応の支援について伺いたい。
- (要望) 「自助・共助・公助」の精神を、世界の水道事業体にも伝え、自然災害の多い日本の経験を積極的に研修メニューに加えることを要望します。

1 西谷浄水場について

- (1) 今回再整備事業により処理能力が増えることにより、全市一日平均給水量に対する自然流下系浄水場からの給水量の割合が現状の36%から約50%へ増えることになる。その結果、神奈川県内広域水道企業団からの受水量は減ると思うが、その削減される量について伺いたい。
- (2) その結果、神奈川県内広域水道企業団へ負担する金額が減ることにより、局の水道料金の支出を抑制し、水道料金値上げを検討することは、当分先に伸ばせることになると思うが、これについての見解を伺いたい。
- (3) 今後、神奈川県内広域水道企業団に対して、更なる基本料金や使用料金の引き下げの要望ができると思うが見解を伺いたい。
- (要望) 神奈川県内広域水道企業団に対し、引き続き、経営努力をするように申し入れ、最終的には横浜市の水道料金の値上げにならないように努力していくことを要望します。

2 直結給水への切替について

- (1) 水道局がすすめている直結給水のメリットについて伺いたい。
- (2) 平成27年度末での市内における受水槽から給水している戸数について伺いたい。
- (3) 受水槽のマンション等は、どのような機会に直結給水に切替えるのか伺いたい。
- (4) 平成27年度の受水槽から直結給水へ切替えた件数について伺いたい。
- (5) 直結給水への切替は、効果が理解できても、費用負担が原因で躊躇することが考えられることから、補助金等の導入を検討するべきと考えるが、このことについての見解を伺いたい。
- (6) 直結給水への切替を促進するため、建築局と連携して、マンションの管理組合等への広報を充実するべきと考えるが、このことについての見解を伺いたい。

3 熊本地震で得た課題等について

- (1) 熊本市や益城町への支援活動を通じて把握した様々な課題に対する取組の主な内容について伺いたい。
- (2) 震災時の水道復旧と下水道復旧との連携など、環境創造局との調整についての取組状況について伺いたい。
- (3) 遠方からの応援隊の一時宿泊地の確保についての考え方を伺いたい。

1 水道事業運営について

(1) 適切な資産管理の推進について

ア 水道施設台帳の整備状況について伺いたい。

イ 施設重要度・健全度を考慮した具体的な更新施設及び更新時期について伺いたい。

ウ 現行中期経営計画後、32年度以降の財政収支見通しについて伺いたい。

エ 適切な施設更新を行う必要があるならば、そのための財源として水道料金の改定も必要と考えるが見解を伺いたい。

(2) 官民連携について

ア これまでの官民連携手法の導入及び検討状況について伺いたい。

イ 今後の水道事業の運営形態に関する認識について伺いたい。

(要望) 施設のエンジニアリングや維持管理、水の販売等のノウハウは自治体に蓄積されており、ライフラインである水道は公営で事業運営していくことを要望します。

2 横浜ウォーター株式会社の国内事業展開について

(1) 22年度から25年度までの4年間の国内事業の状況について伺いたい。

(2) 当初の計画どおり、受託できなかった理由について伺いたい。

(3) 中期計画2016での3年間における国内事業の売上げの推移について伺いたい。

(4) 中期計画2016で大幅に売上げを伸ばしている理由について伺いたい。

(5) 山元町への支援事業について、受注経過も含めたこれまでの取組内容を伺いたい。

(6) 今後の国内事業体のニーズの方向性について伺いたい。

(7) 民間企業と連携して、受注を目指すべきと考えるが見解を伺いたい。